

教員名	山田 真一郎	所属学科	地域政策学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>社会で起きている事象をいくつか取り上げ、それらを憲法学、行政法学の視点から分析し、考察していくことを行います。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>例えば、公立学校におけるムスリムの子どもの受け入れという問題について、公教育の宗教的中立性の確保や多元的社会の形成・外国人住民の福祉という複数の視点から分析を行い、自治体においてどのような対応が望まれるのかという「解」を導き出す、といった作業を繰り返していきます。</p> <p>前提となる法学や社会時事の知識を習得するため、教員の講義や解説がメインとなる授業回もありますが、グループディスカッションや班単位でのプレゼンなど、学生同士協調して主体的に取り組んでもらう機会も多いです。</p> <p>2年基礎ゼミから3年次前半は、社会のトピックをいくつか取り上げ、これに関連する法的な論点について教員が解説し、それらに関する理解を深めた後、皆で関連する論点についてグループディスカッションを実施します。3年次後半は、学生自らが班を編成して、班ごとに各々のグループが選んだテーマについて発表をします。</p> <p>4年次には、個々に研究テーマを設定し、教員の助言・指導の下に2万字程度の卒業論文を執筆します。</p> <p>それ以外にも、学内外のアカデミックな企画にゼミとして参加することも検討しています。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>これらの鍛錬は、公務員試験における専門科目(法律系、政治系、行政系)や教養科目(社会科学)、論述(政策論文、教養論文)をこなす能力につながりますし、さらには社会人として備えるべき確かな教養を育むことになります。</p> <p>前任校における私のゼミの卒業生は、裁判所や埼玉県庁、草加市、加須市、川口市、佐野市、鴻巣市、東京消防庁、警視庁、東部消防組合等に就職したほか、ITや不動産、新聞社、法律雑誌編集社、交通（JR東日本）といった業種に就職しています。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>渡辺洋三『法とは何か 新版』（岩波書店、1998年）</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>学生自らが主体的に、また仲間と協調して、アカデミックな取り組みを行うゼミこそが大学教育の最も面白い学びです。</p>			